

## 「隠岐の島町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

意見募集期間：平成27年10月16日（金）～平成27年10月30日（金）

意見反映区分：

「A」総合戦略への反映を行ったもの（案と同趣旨のものを含む）	8件
「B」総合戦略の実施段階で検討するもの	16件
「C」総合戦略への反映が困難なもの	2件
「D」総合戦略の案に関する感想や質問であるもの	24件
	合計 50件

※ご意見の内容は、頂いた文章を箇条書きにまとめさせていただいています。

番号	ご意見の内容	ご意見 反映区分	ご意見への対応
1	人口構成の中でも女性の高齢者が占める比重が高くなることから、そこに的を絞った施策が必要となるのではないかと。 (生き甲斐づくり、子育て養育支援など)	B	《基本目標》 <u>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する</u> における重点プロジェクト「人材センターの整備」において検討します。
2	優秀な人材、著名人を輩出できる環境とイメージづくり、中学校、高校での下地づくりをすることで、こどもの教育に最適な島としてPRすることができる。	B	《基本目標》 <u>隠岐の島町への新しい人の流れをつくる</u> における重点プロジェクト「ふるさと教育の推進による将来のUIターン者の確保」また「隠岐の魅力の発信」によりPRに努めます。
3	本土と気軽に行き来できる交通体系の整備とその仕組みづくりをし、思いの他県外を含め往来し易い土地であることをイメージさせる。	B	《基本目標》 <u>隠岐の島町への新しい人の流れをつくる</u> における重点プロジェクト「航路運賃の低廉化による来島者の確保」及び《基本目標》 <u>時代に合った地域をつくり、</u>

			<p>安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するにおける重点プロジェクト「交通の利便性の向上」により流通・交流の活性化を促進することを検討し、併せて情報の発信に努めます</p>
4	定年退職者年代への定住、季節的な居住（2ヶ所住居）の勸奨を。	B	<p>《基本目標》<u>隠岐の島町への新しい人の流れをつくる</u>における重点プロジェクト「都市圏の高齢者の隠岐の島町への移住促進」を進める中で、検討します。</p>
5	重点プロジェクトの着実な実施と目標達成のためには、実施体制（組織）作りが大きな要素である。実践力を持ったリーダーの指揮下で機動的に取り組んでいけるグループが不可欠である。	D	<p>毎年度の事業検証も含め、計画の着実な実施が行えるよう組織体制を整えます。</p>
6	地方（へき地）の自治体として多少なりとも“攻めて行く”という気概があるのではないかと思う。	D	<p>本計画を隠岐の島町の人口対策の柱として、着実に進めて参ります。</p>
7	経済振興策においては、隠岐の島町ならではの更にオリジナリティのある打開策を望む。	D	<p>経済振興は、本計画の4つの基本目標全てに関連して行くものと考えています。施策を展開をするうえでは、常にオリジナリティを模索します。</p>
8	親や配偶者などの高齢化に伴う介護により、会社を辞めて介護に専念しなければならなくなるなど、経済浮揚と福祉については、働きたい世代には重大な課題である。	B	<p>《基本目標》<u>隠岐の島町における安定した雇用を創出する</u>における重点プロジェクト「安心して働くための子育て支援、介護支援の充実」を進める中で課題解決に努めます。</p>
9	地方自治体として、住民に幸せを与えるために、どう変化していくのか熟慮を望む。	D	<p>人口減に歯止めをかけるには、まず島にお住まいの方々が日々しあわせを感じられる環境があり、その環境がU I ターン促進施策の一つになり得ると考えます。</p>

1 0	一次産業は重要だとは思いますが、今の若者はハードよりソフト的な産業に流れる傾向にあり、その方面の普及開発が重要。	D	一次産業に限らず各産業部門の推進する中でソフト産業はあらゆる可能性を秘めており、島における新たな業種につながると考えます。
1 1	高齢者のU I ターンは、将来財政及び島の若者の負担になる可能性が高く、重点としては高等学校の魅力化が若者のI ターンに有効と思う。	D	U I ターン者のみならず、現在お住まいの高齢者の方々は島にとって貴重な人材であると考えます。現在島に住む若者もいずれ高齢期を迎えます。 長年培ってこられた経験を町の発展の為、活かしていただけるよう努めます。 島内の高等学校の存続は、町の人口問題に直結していると捉えており、魅力化の推進に努め、島の外へ向けてのPRを行います。
1 2	島における観光客の移動手段は、名所を自在に回る際の移動手段としては観光シーズン不足していると感じる。世界ジオパーク認定以降、欧米等の観光客の増加が予想される。彼らはエコに対する意識が高いため、「公共自転車レンタルサービス」の導入を検討してはどうか。	B	《基本目標》 <u>隠岐の島町への新しい人の流れをつくる</u> における重点プロジェクト「来島者のニーズにこたえることによる島のファン、リピーターの確保」において、二次交通の充実を検討する際に参考にします。
1 3	(人口ビジョン) 推計において、20～24歳が25～29歳になる時に見られる転入超過は、転入が落ち着きを見せている。という表現となっているが、もっと危機感の有る表現とし、町民にわかりやすくすべき。	A	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたしました。 【修正前】 ・転入が落ち着きを見せている。 【修正後】 ・転入数が減少傾向にあり、人口動態に大きな影響を与える一因となっている。

14	(人口ビジョン) P17～現状と課題の整理において、箇条書きでもいいので課題を記載すべき。	C	課題は多種多様であり、「人口の社会増をもたらす施策に取り組むことが課題であり」との表現に留めさせていただきました。
15	(人口ビジョン) P18～若い世代の転出超過の状況を踏まえ～とあるが、踏まえてどうするのか？「状況を踏まえ若者の希望を反映させた環境をつくり～としてはどうか。	A	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたしました。 【修正前】 人口減少を克服するため、若い世代の転出超過の状況を踏まえ、若い世代が安心して働き、希望どおり結婚、出産、子育てをすることができる社会環境を実現する。 【修正後】 人口減少を克服するため、若い世代の転出超過の状況を踏まえ、若者の希望を反映した環境を作り、若い世代が安心して働き、希望どおり結婚、出産、子育てをすることができる社会環境を実現する。
16	(人口ビジョン) UIターンの推計で、進学就職した人間がほぼ全員隠岐に帰ってくるという非現実的な数値ではないか。	D	現時点での推計上ですが、目標年度（西暦2060年）において、11,000人程度の人口を確保する為には必要な数値となります。
17	1章で社会動態を増やすと宣言しているが、2章では自然動態のみの話となっていないか。	D	第2章では、社会増の為の転出の抑制、自然増の環境をつくることによるUIターンの促進に重点をおいた整理いたしました。
18	キャリア教育についての言及が2章内の施策に見当たらない。	D	キャリア教育とは、子ども・若者が社会的・職業的自立に向けて経験を積んでいくことと考えます。 第2章内の《基本目標》 <u>隠岐の島町への新しい人の流れを</u>

			つくるにおける重点プロジェクト「ふるさと教育の推進によるU I ターン者の確保」において施策を実施します。
19	(隠岐の島町における安定した雇用を創出する) 1次産業を強化することも必要だとは思いますが、付け焼刃の2次、3次産業を興したところで6次産業化を行えるとは考えられない。2次産業、3次産業従事者の方が、1次産業に取り組むことができる土壌をつくることが重要。	B	《基本目標》 <u>隠岐の島町における安定した雇用を創出する</u> の施策において、6次産業化に向けて産官学金（産業界、官公署、学校、金融機関）が一体となった協議会を設置することとしており、その中で検討して参ります。
20	(隠岐の島町における安定した雇用を創出する) 闘牛ブリバーガーはブランド品ではない。	A	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたしました。 【修正前】 今あるブランド商品（藻塩米、闘牛ブリバーガーなど）を年間通じて販売できるよう生産体制を拡大し、雇用の創出を図る。 【修正後】 ブランド商品を年間通じて販売できるよう生産体制を拡大し、雇用の創出を図る。
21	(隠岐の島町における安定した雇用を創出する) 重要業績評価指数の目標が不鮮明	D	重要業績評価指数は、各施策の効果を客観的に検証できるよう設定するもので、原則として実現すべき成果に係る指標を設定することとなっていますが、行政行動（～を推進するなど）そのものの結果に係る指標を設定することも差し支えないものとされています。本計画に置いては、可能な限り数値化しましたが、行政行動を指標としたものについても、毎年度計画を検証して行く中で数値化できるもの

			は対応していきます。
2 2	(隠岐の島町への新しい人の流れをつくる) U I ターン者数について、年齢別の内訳の記載が必要ではないか。	C	施策上、若者U I ターンについては「2 0 代後半」、子育て世帯のU I ターンについては、「3 0 代前半～5 0 代前半」その子ども世代については「5 ～1 0 代前半」と年齢層を仮定して推計していますので、対応が困難です。
2 3	(隠岐の島町への新しい人の流れをつくる) ふるさと教育やジオパーク教育はこれ以上必要ない。無理やり子ども達を隠岐の島町に囲い込みたいようにしか感じられない。	D	《基本目標》 <u>隠岐の島町への新しい人の流れをつくる</u> における「具体的施策(2)ふるさと教育の推進によるU I ターン者の確保」により事業を推進するところですが、子どもたちには、「隠岐の島町の良いところだけでなく悪いところも含めて知ってもらおう」という理念があります。そのうえで、「島を出る」、「島に残る」或いは「Uターン」を考えてもらいたいという施策です。島を知ってもらうための「ふるさと教育」や「ジオパーク教育」と考えています。また、このことは島を知る人づくりにも結びつくものであると考えます。
2 4	(隠岐の島町への新しい人の流れをつくる) 今以上に介護施設を増やし、高齢者を呼んだとしてケアすることができるか。働き手を増やすことが必要。	D	事業を検討する上では、マンパワーの確保も含めた計画が必要であると考えています。
2 5	(隠岐の島町への新しい人の流れをつくる) 観光シーズンに飲食店を常時営業するように促すは、当たり前なので、必要なし。	A	計画内容の主旨を再度検証し次のとおり、修正いたしました。現実に常時営業店が少ないことから敢えて記述したところです。 【修正前】 昼食場確保のため、飲食店に観光シーズンは常時営業を行

			うように促す。 【修正後】 観光シーズンに常時営業する飲食店の増を図る。
26	(隠岐の島町への新しい人の流れをつくる) 海がきれいに見えることで、観光満足度が向上するのか。 見せたくない物(海洋ゴミ)が見えてしまう可能性がないか。	D	海に限らず、島の自然景観は観光客の方にとって魅力のひとつであると考えます。環境の美化対策も含めた施策展開を実施します。
27	(隠岐の島町への新しい人の流れをつくる) 著名人に観光大使を依頼する意味がわからない。	A	計画の意図として、著名人の影響力を活用した情報発信を行うことを目的としています。なお、次のとおり文章を修正いたしました。 【修正前】 著名人に観光大使を依頼し、島を映画やプロモーションビデオに利用してもらう。 【修正後】 著名人の影響力を活用した、観光プロモーション事業などに取り組む。
28	(隠岐の島町への新しい人の流れをつくる) 情報発信する前に島外のひとがどのような仕事をしているか調査し、そのスキルにあった職場をつくるべき。	B	新規に雇用創出する上では、必要なことであると考えます。島内で可能な、島外の職業について調査するなどの施策を検討します。
29	(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる) 一時金でなく、定常的に係る経費を下げること。養育費に直結する医療費、保育料、給食費の軽減など。	B	施策を検討し、事業化する際に詳細に検討します。
30	(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる)	D	出逢いをつくることについては、様々な方法を模索し、実

	合コンなどでは出逢いは増えない。島外から相手を持ってくる状況をつくるのが効果的である。フェリーの運航ダイヤ改正や料金の低廉化が必要と思う。		施します。また、航路の低廉化については、(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる)に限らず本計画における4つの基本目標全てに係るものであると考えます。
3 1	(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる) 出逢いの場所があっても、夜の街で遊べるだけの所得が必要。	D	遊興費については、個々の考え方によるものと考えますが、雇用・経済対策を推進するうえで、所得の向上も念頭に検討します。
3 2	(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる) 育メン研修は必要か。男性が育児に関わる環境を作る内容でいいのではないか。	A	地域懇談会や計画を策定する各種会議等において、父親が今以上に育時に関わることが、母親の負担軽減につながり、よりよい育児環境となるとの意見が多くあり、その対策のひとつとして「育メン研修」を明記することとしていました。なお、次のとおり文章を変更いたしました。 【修正前】 子供が生まれる前に、男性に対して育児の大切さを学ぶ場とする育メン研修を実施する。 【修正後】 男性が育児を学ぶ場を拡充する。
3 3	(時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する) 町民の生活満足度を高めることが移住者に対する呼び水とあるが、「満足度を高め、情報発信を積極的に行い～」であれば多少効果があると思う。	A	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたしました。 【修正前】 現在生活している町民の生活満足度を高めることが移住希望者に対する呼び水になると考える。 【修正後】 現在生活している町民の生活満足度を高め、情報発信を積

			極的に行うことが移住希望者に対する呼び水になると考える。
34	<p>(時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する)</p> <p>シルバー人材センターに退職後のU I ターン者を入れた場合、高齢者比率があがり、数年後に福祉施設が更に苦しむので、やめた方がよい。</p>	D	<p>(ご意見番号11再掲) U I ターン者のみならず、現在お住まいの高齢者の方々は島にとって貴重な人材であると考えます。現在島に住む若者もいずれ高齢期を迎えます。長年培ってこられた経験を町の発展の為、活かしていただくことを願うところです。</p> <p>なお、「シルバー人材センター」は「人材センター」とし、高齢者に限らないことといたしました。</p>
35	<p>(時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する)</p> <p>無店舗集落の解消は、人口減少の中商売がなりたたない。移動販売を充実させるであれば理解できる。</p>	D	<p>事業化にあたっては、移動販売を充実させることを含め、多様な対応策を検討することとしています。</p>
36	<p>今までやってきたことの延長では、きっと一番悪い方向に進む。危機感を持って島民の意見を聞くこと。</p> <p>施策の効果を見極め数値化し、定期的に見直していく必要がある</p>	D	<p>本計画は、進捗状況について有識者等の意見を踏まえ、計画期間中毎年度検証し、必要に応じて見直しをかけていきます。なお、計画策定時に設定した各施策における重要業績評価指数についても、検証していくこととなります。</p>
37	<p>若者、教育、意識のキーワードは戦略として言葉の響きがインパクトに欠ける。</p> <p>若者は「若者定住」教育は「学習」「自立」「挑戦」「生涯学習」意識は「意識改革」「改革」「変革」が妥当。</p>	A	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたしました。</p> <p><b>【修正前】</b></p> <p>1) 若者 2) 教育 3) 意識</p> <p><b>【修正後】</b></p> <p>1) 若者定住 2) 生涯学習 3) 意識改革</p>

38	具体的施策が具体性に欠ける。	D	本計画においては、具体的施策として目標を達成するための方向性を決定させていただきました。今後この方向性に基づき、具体的な事業を実施することといたしました。
39	「雇用の拡大」と「労働力の確保」を混同していないか。労働条件が改善されれば、雇用が拡大するという考え方は短絡的。	D	労働条件の改善により雇用自体が拡大するとは考えませんが、労働条件が改善されることにより、その事業所へ就労を検討する人が増えることが想定され「労働力の確保」に繋がると考えます。 「雇用の拡大」のためには、6次産業化やIT分野への進出などにより、新たな事業所が立ち上がることや、既存事業所の事業拡大が必要であると考えます。
40	なぜ「雇用の拡大」に企業誘致、事業所誘致の言葉が出ていないのか。自衛隊等の国の機関や水産高校実習船の母港化等、県の機関を誘致することも含め即効薬は明記すべき。	B	今回の計画を策定するにあたっては、「4つの基本目標」ごとに「5つの重点プロジェクト」に絞り込み、集中的に事業を展開することとしています。企業誘致についての明記はされていませんが、「5つの重点プロジェクト」を進めるうえでの一つの方策と考えます。
41	「重点プロジェクト」は、「重点施策」の表現の方がよいのでは。	D	「重点プロジェクト」の表記につきましては、策定段階において各種会議で検討させていただいた結果、(案)のとおりといたしました。
42	現行の構成は、重点施策：具体的施策：具体的事業の関連性が解りにくい。現行の利点は重点施策と具体的施策がクロスするというような現象を解消するためには、簡易な方法ですが、好ましいことではないと思う。	D	計画書の構成につきましては、策定段階において各種会議で検討させていただいた結果、(案)のとおりといたしました。

4 3	基本目標「隠岐の島町における安定した雇用を創出する」の重点プロジェクトに「観光を基軸とした町」の考え方で、「第3次産業（サービス業）の活性化」を。	B	今回の計画を策定するにあたっては、「4つの基本目標」ごとに「5つの重点プロジェクト」に絞り込み、集中的に事業を展開することとしました。「第3次産業（サービス業）の活性化」につきましては、基本目標「隠岐の島町における安定した雇用を創出する」に限らず今回の計画の4つの基本目標全てに関連することであると考えます。
4 4	施策に関し、畜産部門で肥育牛の飼育促進のための屠畜場の整備、加工施設の整備は考えられないか。	B	≪基本目標≫ <u>隠岐の島町における安定した雇用を創出する</u> における具体的施策「畜産業の活性化」を進める中で検討いたします。
4 5	農業の活性化において、給排水路の整備を入れて欲しい。農道法面のセメント張りにより草刈りの労力削減をする施策を追記してほしい。	B	≪基本目標≫ <u>隠岐の島町における安定した雇用を創出する</u> における具体的施策「農業の活性化」を進める中で検討いたします。
4 6	「改正育児・介護休業法」により、100人未満の事業主にも適用された「短時間勤務制度」「所定外労働の制限」も記述し、事業主の意識を高めた方がよい。	B	≪基本目標≫ <u>隠岐の島町における安定した雇用を創出する</u> における具体的施策「安心して働くための子育て支援、介護支援の充実」を進める中で検討いたします。
4 7	高齢者の交流促進はいいが、介護や医療などでの負担や高齢化を懸念する。若者と相反する施策となるのではないか。	D	（ご意見番号11再掲）UIターン者のみならず、現在お住まいの高齢者の方々は島にとって貴重な人材であると考えます。現在島に住む若者もいずれ高齢期を迎えます。長年培ってこられた経験を町の発展の為、活かしていただけるよう努めます。 なお、「シルバー人材センター」は「人材センター」とし、

			高齢者に限らないことといたしました。
48	観光の満足度の施策では、まずは受け入れる施設の整備が必要。	B	《基本目標》 <u>隠岐の島町への新しい人の流れをつくる</u> における具体的施策「観光関連施設等の整備」において検討いたします。
49	入学、卒業などの節目に子育て世帯に対して一時金の支給の制度化を検討するとあるが、どの時点（小学校・中学校・高校？）か具体的に記述する必要があるのではないか	B	一時金の支給を行う時点については、その効果も含め、事業化するにあたり詳細に検討いたします。
50	経済5団体からの意見を聞き、町の事業主（法人・企業）が必要な人材確保の推進を図るため、新たな「奨学金制度」を創設する必要がある。	D	本件に限らず事業を検討するにあたっては、関係機関の意見をお聞きすることが重要と考えます。